

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 フィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業
実施期間	2014年3月～2017年7月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>漏水などによる高い無収水率が課題となっているフィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区において、漏水探知や漏水防止工事等に関する技術移転を通じたフィジー水道技術者（主に配水管の維持管理・整備計画等に携わる技術者）の育成等により、同地区における無収水率の低減化活動を支援するもの。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市水道局職員の派遣による現地指導（3回/年） ・フィジー水道技術者の本邦受入研修（1回/年） ・メータや漏水探知機など技術協力に係る資機材供与 <p>平成28年度は、延べ25人の本市職員派遣，フィジー水道技術者5名の受入を通じ，パイロット地区における漏水対策指導，配水管網計画技術の移転，施工管理指導等を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA個別専門家 ヤンゴン市水供給・衛生アドバイザー
実施期間	2015年8月～2017年8月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市は、約560万人を抱えるミャンマー最大の都市であるが、今後の経済発展及び人口増加に伴う水需要量の増加への対応や、排出負荷の増大に対する衛生システムの整備等、重要な課題を抱えており、上下水・衛生分野の整備を戦略的に進める必要がある。</p> <p>このため、政策提言、助言を行う専門家の派遣による支援要請がミャンマー政府より我が国になされ、これを受けたJICAからの依頼に基づき本市職員をヤンゴン市に派遣、現地の給水環境改善に取り組むもの。</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ヤンゴン市の上水道事業に係る情報収集及び関係者への共有。 2) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員と共に現状分析や課題整理。 3) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員に対し、以下の点に関する助言。 <ul style="list-style-type: none"> ・水ビジョン実現及び上水道分野にかかる開発方針・事業展開計画の推進 ・上水道事業運営 ・衛生改善 など 4) ヤンゴン市の経験を踏まえた上水道事業にかかる中央省庁や他都市への知見共有及び助言・提言。 5) 将来の日本の協力案件の発掘・実施促進のための支援。 <p>平成28年度は引き続き、上記の業務に取り組んだ。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修 ミャンマー国対象 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）
実施期間	2016年11月10日～12月8日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ミャンマーには無収水量管理における実践的な技術と知識を持っている技術者が少なく、技術者の育成が急務となっている。</p> <p>JICAは給水工事に携わる技術者を対象として、漏水防止を中心に、無収水量管理に関する知識・技術の習得を目的とした研修を実施しており、本市は、その受託者としてミャンマー水道技術者の技術水準の向上等を図るもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>研修において、以下のプログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業，漏水防止，配水管整備・維持管理，メータ管理 など ・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・実習：本市水道局研修施設における給水管接合演習 など ・本市職員とのディスカッションを通じたアクションプラン作成支援 <p>平成28年度は、ヤンゴン市をはじめミャンマー連邦共和国技術者8名を受け入れ、研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	一般財団法人自治体国際化協会 自治体職員協力交流事業
実施期間	2016年6月～11月
主催機関	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>CLAIRの「自治体職員協力交流事業」を活用し、ヤンゴン市職員を本市に「協力交流研修員」として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得させるとともに、ヤンゴン市職員の人材育成を通じたヤンゴン市水道の運営・維持管理の改善および本市とヤンゴン市とのさらなる信頼関係の構築を図るもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>研修において、以下のプログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業全般，下水道事業全般 など ・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・実習：浄水場の運転・維持管理実習，本市水道局研修施設における給水管接合演習 など ・本市職員とのディスカッションを通じたアクションプラン作成支援 <p>平成28年度は、ヤンゴン市の水道技術者2名を受け入れ、研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、東京都水道局、福岡市水道局、東京水道サービス(株)、(株)PUC 等
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市では、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが円借款事業に付した技術協カプロジェクトを実施している。福岡市水道局は、東京都水道局とともに、国内支援委員として本プロジェクトに参画し、水道事業者としての立場で助言等を行うもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>福岡市水道局は、東京都水道局と共同で、現地セミナーや訪日研修を実施。</p> <p>平成28年度は、ミヤマ-日本合同水道セミナー、合同調整委員会の講師として職員4名をヤンゴン市に派遣した（1月26日～2月2日）。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真

